

新興国の高い成長が世界経済を牽引 ～世界経済の基調は依然として堅調に

IMF(国際通貨基金)は7月7日に発表した最新の世界経済見通しで、2010年の世界経済の成長率予想を4.6%と、前回4月時点の見通しから0.4ポイント上方修正しました。

IMFは、成長率予想を引き上げた理由について、「中国をはじめとしたアジア地域が牽引し、今年前半には世界全体で力強い経済活動がみられた」と指摘しています。先進国では、日本の成長率予想を0.5ポイント引き上げて2.4%、米国を0.2ポイント引き上げて3.3%としました。新興国では、中国を10.5%、インドを9.4%にいずれも上方修正しました。また、世界的な貿易拡大を背景に、資源などの輸出国であるブラジルの成長率予想も大きく引き上げられました。

一方、2011年については、「財政の持続性や政策対応、将来の成長展望に対する信認の低下を反映した最近の金融市場の混乱が、世界経済の見通しに暗雲を投げ掛けている」とし、ユーロ圏をはじめ日本や中国の成長予想を下方修正しました。先行きへの警戒感強いものの、2011年の世界経済の成長予想を4.3%に据え置いたことは、世界経済の基調が堅調であることが示されたと考えられます。また、新興国の高い成長が引き続き世界経済を牽引する動きは不変であるとみられます。

なお、依然として国や地域によって景気回復の持続性にばらつきがあることから、投資にあたっては、ファンダメンタルズが堅調であるとみられる国や地域をより選好していく必要があります。

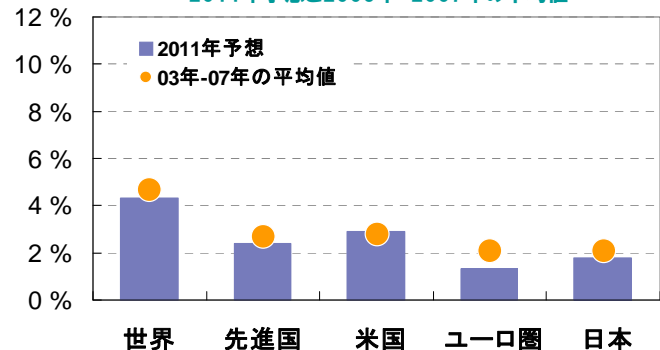
IMFの世界経済見通し

(白背景部分は2010年4月時点の予想との比較)

	2008年	2009年	2010年予想	2011年予想	2010年4月時点の予想	2010年4月時点の予想との差
世界	3.0%	-0.6%	4.6%	4.3%	0.4	0.0
先進国	0.5%	-3.2%	2.6%	2.4%	0.3	0.0
米国	0.4%	-2.4%	3.3%	2.9%	0.3	0.3
ユーロ圏	0.6%	-4.1%	1.0%	1.3%	0.0	-0.2
英国	0.5%	-4.9%	1.2%	2.1%	-0.1	-0.4
日本	-1.2%	-5.2%	2.4%	1.8%	0.5	-0.2
新興国	6.1%	2.5%	6.8%	6.4%	0.5	-0.1
中・東欧	3.1%	-3.6%	3.2%	3.4%	0.4	0.0
ロシア	5.6%	-7.9%	4.3%	4.1%	0.3	0.8
アジア	7.7%	6.9%	9.2%	8.5%	0.5	-0.2
中国	9.6%	9.1%	10.5%	9.6%	0.5	-0.3
インド	6.4%	5.7%	9.4%	8.4%	0.6	0.0
中東・北アフリカ	5.3%	2.4%	4.5%	4.9%	0.0	0.1
サハラ以南のアフリカ	5.6%	2.2%	5.0%	5.9%	0.3	0.0
中南米ほか	4.2%	-1.8%	4.8%	4.0%	0.8	0.0
ブラジル	5.1%	-0.2%	7.1%	4.2%	1.6	0.1

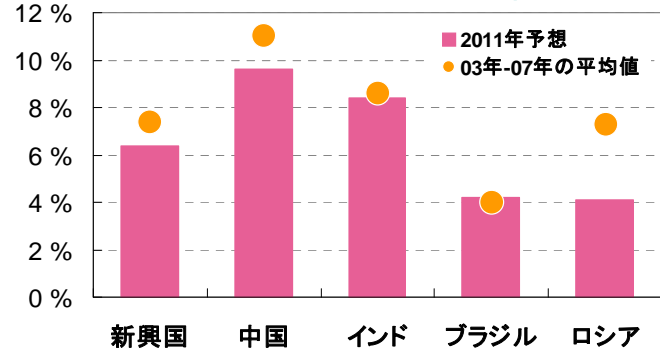
先進国などの経済成長率

2011年予想と2003年-2007年の平均値



新興国の経済成長率

2011年予想と2003年-2007年の平均値



出所: IMF「World Economic Outlook, Update July 2010」、および「World Economic Outlook, April 2010」

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。